

# 未来への扉を開こう

## 小浜市立遠敷小学校

### 1 取り組みの概要

#### (1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	9回 (のべ) 21日

#### (2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	36人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	465人
登下校支援ボランティア	1225人
その他 (図書館ボランティア)	288人

#### (3) 特色ある活動

テーマ「津波想定 遠敷配水池への避難」

地震・津波を想定した避難訓練を行いました。第一段階は地震がおり、各教室から体育館への避難でした。1学期に比べると、「おさない・はしらない・しゃべらない」の3原則が守られるようになりました。3分13秒で全員が避難できました。

第二段階では、5m以上の津波を想定して200m離れた遠敷配水池への避難を行いました。6年生と1年生が、5年生と2年生がペアとなり、3年生、4年生は学年ごとに早足で目的地へ向かいました。途中、話し声は聞こえましたが真剣に取り組めたと思います。坂道を上り終え全員が避難し終えたのは11分15秒後でした。

学校には地震・津波時の避難マニュアルはありますが、実際にしてみるといろいろな問題点があがりました。



#### ○問題点

- 1 児童の服装をどうするのか、着の身着のままでもいいのか。今回は半袖、短パンの児童もいた。
- 2 非常持ち出しの準備がされていない。
- 3 避難した後の情報収集をどうするか。
- 4 保護者引き渡し方法をどうするか。
- 5 配水池入り口の鍵の開錠方法は。
- 6 避難先での食料・水の確保。
- 7 若狭東高校への避難はできないか。
- 8 混雑する避難経路(歩道)での安全確保。
- 9 配水池の事前安全確認



配水池広場に避難完了

まず生命を確保することですが、以上のことも一つずつ解決していかないと避難マニュアルは机上の空論になってしまいます。関係機関とも協議して解決していきたいと思ひます。

#### 成果と課題

避難訓練を授業公開週間に実施し、保護者に関心をもって参観してもらうことができた。校長会では各校から津波・水害対策の報告があった。立地条件により異なるが、想定していなかった対策も多くあり参考となった。地域学校協議会で避難訓練の問題点を協議し、区長会等で要望事項として取り上げてもらえるよう働きかけていきたい。